

研修プログラム概要

研修期間	2	年間
研修病院（代表病院）	湘南藤沢徳洲会病院	
研修協力病院（パートナー病院）	榛原総合病院、湘南鎌倉総合病院	
研修協力薬局（パートナー薬局）	なし	

区分	研修項目 【ガイドライン推奨期間】	研修期間	研修時期	研修施設	研修のポイント・特色
必修	(1) 調剤業務 【3ヶ月程度】	6ヶ月	1年目(4-9月)	湘南藤沢徳洲会病院	・基本的な調剤・鑑査、疑義照会手技の確立、製剤、注射薬調剤 ・散剤・水剤・軟膏の混合調製手技の習得
必修	(2) 医薬品の供給と管理 【2週間以上】	2年	1年目(4-3月) 2年目(4-3月)	湘南藤沢徳洲会病院	・麻薬、向精神薬、毒薬等の管理実務
必修	(3) 医薬品情報管理(DI) 【2週間～1ヶ月】	2週間	1年目(5-6月) 2年目随時	湘南藤沢徳洲会病院	・質疑応答の実践 ・DIニュース作成
必修	(4) 病棟業務 (薬剤管理指導) 【6ヶ月程度】	18ヶ月	1年目(10-3月) 2年目(4-3月)	湘南藤沢徳洲会病院 榛原総合病院	・担当2病棟とし、1病棟はローテーション対象 ・担当患者を持ちカンファレンスへ参加 ・症例報告(10症例)の作成 ・在宅研修時にパートナー病院で地域包括ケア及び療養病床を研修
必修	(5) 在宅訪問 【1ヶ月程度】	1ヶ月	2年目随時	榛原総合病院	・連携する「榛原総合病院」にて実習 ・在宅療養管理指導への同行、多職種連携の実践
必修	(6) 医療安全 【全期間】	2年	1年目(4-1月) 2年目(4-3月)	湘南藤沢徳洲会病院	・インシデントレポート分析、疑義照会集計 ・セーフティマネジメント部会への参加(見学)
必修	(7) 感染制御 【全期間】	2年	1年目(4-1月) 2年目(4-3月)	湘南藤沢徳洲会病院	・ICTラウンド、血培ラウンド、抗菌薬使用届出の確認等薬剤師の役割の理解 ・標準予防策(手指衛生等)の実践
必修	(8) 地域連携 【全期間】	2年	1年目(4-1月) 2年目(4-3月)	湘南藤沢徳洲会病院 湘南鎌倉総合病院 榛原総合病院	・常用薬最新薬歴の確認、トレーシングレポート運用、退院時薬剤サマリー作成、 服薬情報等提供料3の依頼(パートナー病院研修期間中にも適用) ・地域住人向けの医療講演への参加 ・薬局薬剤師の役割(当院主催の連携勉強会への参加) ・離島、へき地医療の実践(2年目)
必修	(9) 無菌調製 【2週間】	1ヶ月	1年目(8月) 2年目(6月)	湘南藤沢徳洲会病院	・高カロリー輸液、抗がん剤の無菌調製手技 ・閉鎖式接続器具(GSTD)の適正使用指導
必修	(10) がん化学療法 【1ヶ月】	1ヶ月	1年目(8月) 2年目(6月)	湘南藤沢徳洲会病院 湘南鎌倉総合病院 榛原総合病院	・レジメンチェック、支持療法の提案 ・外来化学療法室での薬剤師外来(面談)の実践 ・血液疾患は「湘南鎌倉総合病院」で研修 ・榛原総合病院は「湘南藤沢徳洲会病院」でレジメン管理並びに薬剤師外来の研修
選択	(11) TDM	随時	1年目(10-3月) 2年目(4-3月)	湘南藤沢徳洲会病院	・抗菌薬・免疫抑制剤等の解析・投与設計レポート作成 ・解析ソフトの運用管理
選択	(12) 専門領域 (ICU・小児・産婦人科 ・精神科の薬物治療等)	(任意)	2年目(12-2月)	湘南藤沢徳洲会病院	・がん、感染、精神、緩和など特定領域 ・専門薬剤師資格取得要件となる症例の集積
選択	(13) その他	(任意)	2年目	湘南藤沢徳洲会病院	・研修の総括として院内または学会での症例発表

補足事項
 ・研修生の所属施設により研修時期は異なります
 ・(12)は研修生のニーズに対応して実施します